

船舶事故調査報告書

平成29年1月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	ウェイクボーダー負傷
発生日時	平成28年6月19日 15時00分ごろ
発生場所	京都府宮津市アカグリ鼻西南西方沖 宮津黒埼灯台から真方位204° 1,350m付近 (概位 北緯35° 35.2′ 東経135° 14.9′)
事故の概要	プレジャーボートミスマリン24は、落水したウェイクボーダーを収容中、ウェイクボーダーが軽傷を負った。
事故調査の経過	平成28年8月9日、主管調査官（神戸事務所）を指名原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート ミスマリン24、1.6トン
船舶番号、船舶所有者等	251-21390 京都、株式会社にしがき
乗組員等に関する情報	船長、二級小型・特殊・特定 ウェイクボーダー
負傷者	軽傷 1人（ウェイクボーダー）
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南東、風力 1、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の初期
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、友人3人（以下「同乗者」という。）を乗せ、落水したウェイクボーダーを収容しようと、ウェイクボーダーの手前約5mで機関をアイドリング状態として停船した。</p> <p>船長は、ウェイクボーダーに船尾からけん引ロープを投げ、同乗者の1人にけん引ロープを引き寄せるよう指示した。</p> <p>ウェイクボーダーは、けん引ロープをつかみ、本船に背中を向けて仰向けの状態で右舷側船尾に引き寄せられ、背中が右舷船尾に触れたので右から本船側に振り向いたところ、左足がプロペラをまたぐ体勢となってプロペラに接触し、ふくらはぎに切り傷を負った。</p> <p>船長は、ウェイクボードのえい航経験が4～5年前から約150回あり、ウェイクボーダーはウェイクボードの遊走経験が約10回あった。</p>
分析	本船は、落水したウェイクボーダーを本船に収容する際、船長がプロペラが停止していることを確認していなかったことから、ウェイクボーダーの左足が回転中のプロペラに接触し、負傷したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、落水したウェイクボーダーを本船に収容する際、船長がプロペラが停止していることを確認していなかったため、ウェイクボーダーの左足が回転中のプロペラに接触したことにより発

	生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none">・ 水中のウェイクボーダーに接近し、プレジャーボートに収容する際は、プロペラ位置を確認すること。